

# 「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和4年11月18日(金) NO2 | 文責 <sup>きした</sup>木下 <sup>ふみあき</sup>文秋

## ポーっと生きてんじゃねーよ!

NHKのチョコちゃんに叱られるというコーナーの決まり文句が「ポーっと生きてんじゃねーよ!」です。NHKにしては思い切った言い切り方だと思うのですが、逆に共感を呼ぶのでしょうかね。

私はあまりNHKにこだわりがないので、特に毎週視聴することがないのですが、何となく耳に残っています。偶然かもしれませんが最近、職員室での立ち話や部活動の話の中で「(生徒が)何かポーツとしてるんですね」という言葉を聞くことが多いです。11月のこの時期はつかみ所のない難しい時期なのかもしれません。部活動の地区大会も県大会も終了しました。県駅伝も終わりました。でもクリスマスと正月まではまだひと月以上あります。11月21日からは期末テストになるので今週の金曜日からは部活動が停止です。皆さんは今何を目標として生活しているでしょうか。当然2年生のみんなは修学旅行の下調べ学習や準備に一生懸命ですよ。けど、それが全てではありません。多分このポーツとしているのは、生徒に限らず私たち大人もそうなのかも。こんな時こそ気持ちを引き締めて…と思いながらこんな昔のことを思い起こします。

## 丁寧に生活する

私が現任校に赴任していた時、国語の女性の先生がおられました。とても凛とした方で、いつも前向き。そして教科指導や学級経営はもちろん、特に合唱コンクールの合唱指導がすごくて学級の生徒を見事にまとめあげ、素晴らしいハーモニーに仕上げる先生でした。その先生は国語の先生なので、合唱に特化した指導ができないと思うのですが、ごく普通の学級を見事に鍛え抜かれていました。その先生が「丁寧に生活する」という言葉をよく書かれていました。丁寧とは「細かなところまで気を配り、入念にすること。言動が礼儀正しく、配慮が行き届いていること」とあります。これまで「大切に生活する」とか「よく考えて生活する」という言い方はありましたけど、その時初めて「丁寧に生活する」と聞いて今でも頭に残っています。当時の学級の中には、個性が強くて決して一筋縄ではいかない子がたくさんいましたが、真摯に向き合い愛情をもって接しておられる姿がありました。11月のポーツとしている自分に渴を入れて、その先生から学んだ「丁寧に生活する」という言葉を大事にしながらもう一度仕切り直していきたいと思います。